

たていわ 立岩海岸環境整備事業

受賞機関 愛媛県松山地方局建設部

はじめに

立岩海岸は、愛媛県松山市の北部に位置し、「波妻^{はづま}の鼻」と呼ばれる景勝地で、夏には海水浴客で賑わう風光明媚な海岸である。背後には、国道196号が通り、周辺には青少年スポーツセンターや道の駅「風和里^{ふうわり}」が整備されている。

しかし、近年、汀線の後退が進み、海水浴客が減る一方で、台風の高波による歩行者の死亡事故発生や国道の通行止めなど、緊急に対策が必要な状況であった。

そこで、海岸環境整備事業により、周辺施設と一体となった海浜利用の促進や自然環境を考慮した越波対策を実施し、海洋スポーツ・レクリエーション交流空間の整備を図ることとしたものである。

事業の概要

- 延 長：670m
- 主な構造物：離岸堤 2 基 突堤 1 基（165m）
養浜工 6.5ha 護岸 614m
- 事業期間：平成11年度～平成16年度
- 事業費：約31億円

事業の特徴

施設は、砂浜浸食が著しく進行した区間では、養浜を実施することにより高波からの防護を行うと同



全景

時に、海水浴が可能な構造とした。また、事前の生態系調査により、愛媛県レッドデータブックで準絶滅危惧種に指定されている希少生物(ナメクジウオ)が確認された区間周辺での護岸は、生息環境に影響の少ない直立消波ブロック構造とした。

施工にあたっては、国土交通省四国地方整備局と協議を行い、直立消波ブロック上部水叩部は国道の歩道との兼用施設とするとともに、海水浴客の利便性向上のため松山市が駐車場やシャワー・トイレ施設の整備を行うなど、関係機関と連携を図りつつ実施した。

また、他の公共事業で支障となったフェニックスを本箇所に移植することで、遊歩道に木陰を提供するとともに、南国情緒を演出することにも配慮した。おわりに

本事業の整備により越波被害が軽減されるとともに、周辺施設と連携して整備することで、海水浴などのマリンスポーツの利用だけでなく、自然景観を楽しみながら散策する人々が大幅に増え、地域に親しまれる施設として活用されている。



道の駅「風和里」の高台より海を望む

賛助会員 (株)大本組、五洋建設(株)、佐伯建設工業(株)